

授業概要

科目名	精神障害治療学				授業の種類	講義	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間	2単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	1年 前期
【授業の目的・ねらい】 精神障害領域における作業療法を学ぶ								
【実務者経験】 作業療法士として、精神科作業療法、精神科デイケア、司法分野として、刑事施設における作業療法に従事経験。								
【授業全体の内容の概要】 疾患ごとに作業療法の方法論を理解する								
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 精神障害と作業療法との関係を述べるができる								
回数	講義内容							準備物(教材)
1	オリエンテーション、1.ひとと病い（1.1-1.6）							教科書
2	2. 精神の病い処遇の歴史と作業療法（2.1-2.2）							教科書
3	3. 作業をもちいる療法の特性（3.1-3.7）							教科書
4	4. 作業療法の治療・支援構造と治療期序（4.1-4.3）							教科書
5	4. 作業療法の治療・支援構造と治療期序（4.4-4.8）							教科書
6	4. 作業療法の治療・支援構造と治療期序（4.9-4.11）							教科書
7	5. 作業療法の手順（5.1）							教科書
8	5. 作業療法の手順（5.2）							教科書
9	5. 作業療法の手順（5.2）							教科書
10	5. 作業療法の手順（5.3-5.4）							教科書
11	6. 作業療法の実践（6.1-6.2）							教科書
12	6. 作業療法の実践（6.3）							教科書
13	6. 作業療法の実践（6.4-6.9）							教科書
14	7. 主な精神認知機能の支障と作業療法（7.1）							教科書
15	まとめ							教科書
	定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 山根寛著/精神障害と作業療法新版（三輪書店）								
【準備学習・時間外学習】 精神医学の授業と並行して実施していきと思いますので、疾患の特徴など、まだ学んでいない部分を説明する可能性もあります。その場合、事前に予習しておいてほしいところがあれば、改めてお伝えします。								
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期筆記試験を100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。								